

自治体保健師に求められる能力に
係る検討資料

統括的な役割を担う保健師の育成①

中間とりまとめにおいて示された検討の方向性

- 統括的な役割を担う保健師は、保健活動通知※に「保健師の保健活動を組織横断的に総合調整及び推進し、技術的及び専門的側面から指導する役割を担う部署を保健衛生部門等に明確に位置付け、保健師を配置するよう努めること。」と明記されたこともあり、自治体においてその重要性が認知され、配置が進んでいるところ。
- 統括的な役割を担う保健師の配置と継続的な確保に向け、今後、各自治体においてこのような役割を担う保健師をどのように育てていくかが重要な課題である。

※「地域における保健師の保健活動について」(平成25年4月19日付け健発0419第1号)」

まとめ(案)

【統括的な役割を担う保健師に求められる能力】

- 統括的な役割を担う保健師(以下、「統括保健師」という。)の役割は保健活動通知に示されており、以下の3点にまとめることができる。
 - ・保健師の保健活動の組織横断的な総合調整及び推進
 - ・技術的及び専門的側面からの指導及び調整
 - ・人材育成の推進
- すでに自治体に配置されている統括保健師は、上記に加えて、関連する多様な役割を担っていると考えられるが、本検討会では保健活動通知に示された役割を基に、統括保健師に共通して求められる能力を整理することとする。
- 統括保健師に求められる能力は、上記に整理した統括保健師の役割に基づき、厚生労働科学研究※¹及び統括保健師を対象とした調査結果※²等を参考に別紙の通り整理した。

※¹ 平成26～27年度厚生労働科学研究費補助金「地域保健に従事する人材の計画的育成に関する研究」(主任研究者:奥田博子)

※² 全国保健師長会「地域における保健師の保健活動に関する指針」の活用状況に係る調査

(別紙) 統括的な役割を担う保健師に求められる能力

◆統括保健師の役割

- ・保健師の保健活動の組織横断的な総合調整及び推進
- ・技術的及び専門的側面からの指導及び調整
- ・人材育成の推進

● 組織横断的な調整や交渉を行う能力

- 組織内の各部署に配置されている保健師も含め、保健師に関連する活動の全容を把握できる。
- 地域の保健事業を推進するため、保健、医療、福祉、介護等の多様な分野の組織内外関係者とのネットワーク及び効果的な協働体制を構築することができる。

● 保健師としての専門的知識・技術について指導する能力

- 専門的知識や技術について、社会の変化や情勢に応じて常に更新し、実践すると共に、各自治体において求められる役割を保健師に示し、指導を行うことができる。

● 組織目標等に基づき保健師の人材育成体制を整備する能力

- 組織目標や地域保健施策の展望等を踏まえた保健師の人材確保や配置、人材育成に関する提言ができる。
- 組織全体の保健師のための人材育成計画を立案し、実施体制を整備することができる。
- 指導的立場にある保健師の指導力向上のための指導を行うことができる。

統括的な役割を担う保健師の育成②

まとめ(案)

【統括保健師の育成】

- すでに自治体に配置されている統括保健師が、統括保健師になるまでに獲得した専門能力は、様々な業務経験等を通じて段階的に獲得されており、統括保健師に求められる能力についても同様であった。
- 統括保健師の育成のためには早期からの計画的な人材育成が必要であり、多様な業務経験等を通じて統括保健師に必要な能力が獲得できるよう、ジョブローテーション(OJT)と研修(Off-JT)を組み合わせたキャリアパスを構築することが重要である。
- 統括保健師については保健活動通知に明記されており、自治体組織としても、その必要性や重要性を再確認することが必要である。また保健師自らもそれを十分に認識するとともに、統括保健師が統括保健師としての自覚を持つことができるよう、育成の過程における周囲の支援も重要である。
- また、統括保健師が十分にその役割を果たすためには、統括保健師を補佐する保健師を位置づけることが有用であることから、その確保が望まれる。